様式 4 補 助 金 ・ 交 付 金 チ ェ ッ ク シ ー ト (No.1)

補 助 金 名 (交付金名)	函館市地域組織活動費補助金	開年	始 度	昭和44年度
団 体 名	函館市中央母親クラブほか23ク	ラブ		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市地域組織活動費補助金交付	要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	・親子および世代間の交流活動または文化活動・児童養育に関する研修活動・児童の事故防止等に関する活動・児童福祉の向上に寄与する活動
目 的	(目 的) 母親クラブは平成28年現在市内の27の児童館を拠点に各々の児童館と連携した事業を展開するほか、地域で様々な子どもたちの健全育成のためのボランティア活動を行い、母親としての資質向上および児童福祉の向上を図る。
• 効 果	(効果) 近年の核家族化,少子高齢化,地域のつながりの希薄化など、子どもを取り巻く環境が変化する中,地域で子どもたちを育み,子育て支援を行う母親クラブの活動は,非常に重要である。

○補助事業の収支状況

(単位	4	Ш)
(- 1	LI	,

	年 度	助			会 費	繰越金	計
	十 及	市	その他	事業収入	五 貝	//木/2 <u>3</u> 2	PΙ
	23 (決算)	4, 725	520	1, 246	559	16	7,066
収	24 (決算)	5, 103	595	1, 332	554	26	7,610
	25 (決算)	5, 052	544	1, 295	525	112	7, 528
入	26 (決算)	4, 995	905	1, 183	499	100	7, 682
	27 (決算)	3, 780	520	1,062	393	101	5, 856
	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	予備費	計
支	23 (決算)			6, 665	375	26	7,066
	24 (決算)			7, 092	405	113	7,610
	25 (決算)			7, 022	405	101	7, 528
出	26 (決算)			7, 176	405	101	7, 682
	27 (決算)			5, 520	336	0	5, 856

補 助 金 名 (交付金名)	函館市地域組織活動費補助金

○基本的視点の再チェック

	基本的視点	適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献 する事業 ②市民ニーズが高い事業	> >		母親クラブ(通称)は、函館市内の27の児童館を拠点に各々の児童館と連携した事業を展開するほか、地域で子どもたちの健全育成のための様々なボランティア活動を行っている。
2	必要性 (補助しなければならない事 業であるか)	✓		近年の核家族化,少子高齢化,地域のつながりの希薄化など,子どもを取り巻く環境は変化し,地域で子どもたちを育み,子育て支援を行う活動が一層重要となってきているため。
3	自主性(自主自立に向け努力してい るか)	✓		地域の母親等がボランティア活動をするにあ たっては、補助金の継続が無ければ今後の活動 は非常に難しい。
4	有効性(他の手法ではなく補助する ことが,施策目的実現に最適か)	>		自主的な活動を尊重しながら補助金として支 出することが最適である。

○財政的視点のチェック

	財政的視点	不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は, 前年踏襲となっていないか		
2	補助金等の使途は適切である		
3	積算基準は定められている		
4	補助割合は,補助対象経費の1/2以内で ある	V	当該団体は、ほぼ当市からの補助金により運用されており、1/2を団体が負担することは、 団体の性質上困難である。
5	前年度繰越金は生じていないか		
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保している か)		
	経常経費の節減に努めているか		

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

[※]適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

補 助 金(交付金		函館市地域組織活動費補助金						
○ 補	助効	果の検証						
	(効果測定方法,具体的な数値等)							
	主な活動として ①親子および世代間の交流事業または文化活動							
2)	②児童養育に関する研修活動							
	③児童の事故防止等に関する活動 ④その他児童福祉の向上に寄与すると活動							
	成状況)	(五田田(127)17)	工(0円)	7 0 0 1	1 291			
(XL)	V-1/1/2017							
L∃	白洋動し	ープ 鋭っ	キヘめ禾	笛の行車	ま学)ァ	トス世代問去法・ス	. 杏て古怪	に係る講演会などの研修
						よる世代間交流, 子 等を行っている。	月 【 义 1仮	に休る再供云なるの別形
			!	継続事業	きは,	直近の実績 新規事	業は、効	果のみ記載してください。
		7						
(評	価)				(理 由)		
+	分効果	をあげている						
		果をあげてレ 問である	いる	✓ 		児童の健全育成,子	·育て支援	の活動として、地域に定
	未が疑	可でめる			着	している。		
04	後の	方向性						
1	現行の	まま補助を	継続			(見直しの内容)		
	見直し	たうえで補具	助を継続					
	廃止							
	その他					(見直しの時期)		
	C 47 E							
(廃」	上の理由	1)				(その他の内容)		
(廃)	上の時期)			-			
(),0-	_ · •,//	,						
○斜	外期の	設定						
	終期]		終其	閉到来により廃止		次回チェック年度(予定)
	平成 30) 年度		7	終目	明到来時に再検討		 平成 30 年度
	1 1/1/2 01	, F及	J	Ľ	からが	// ~1 / / N - 1 1 (〜 丁丁1 / 尺 日)		1 % 00 干皮

様式 4

○補助金積算方法

年 度	補 助 金 額	対 象
平成25年度	1クラブあたり 187,100円	27母親クラブ
平成26年度	1クラブあたり 185,000円	27母親クラブ
平成27年度	1クラブあたり 180,000円 基礎額 135,000円 加算額(上限) 45,000円 ※加算額は前年度児童参加実績人数×30円 で積算	24母親クラブ (美原・昭和・神山母親クラブ 分は、地域連携事業費として 指定管理委託料に計上)
平成28年度	1クラブあたり 180,000円 基礎額 135,000円 加算額(上限) 45,000円 ※加算額は前年度児童参加実績人数×30円 で積算	24母親クラブ (美原・昭和・神山母親クラブ 分は、地域連携事業費として 指定管理委託料に計上)